

コンパクト光パワーモニタ基板

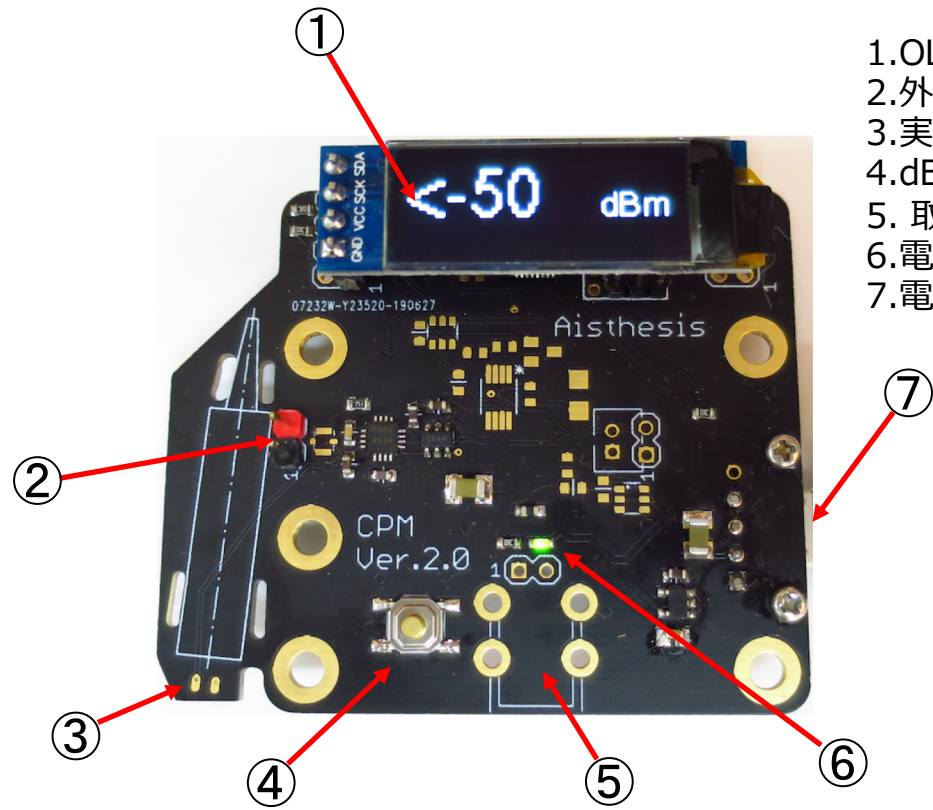
仕様 & 取扱説明書

Rev1.0

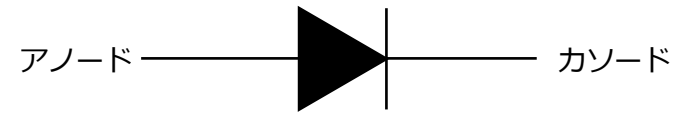
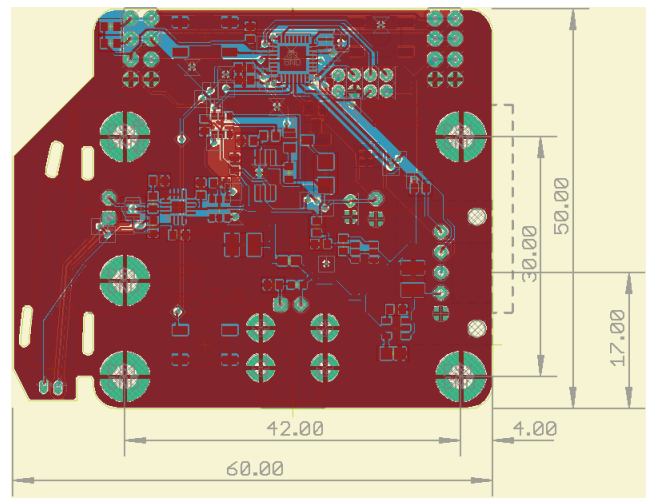
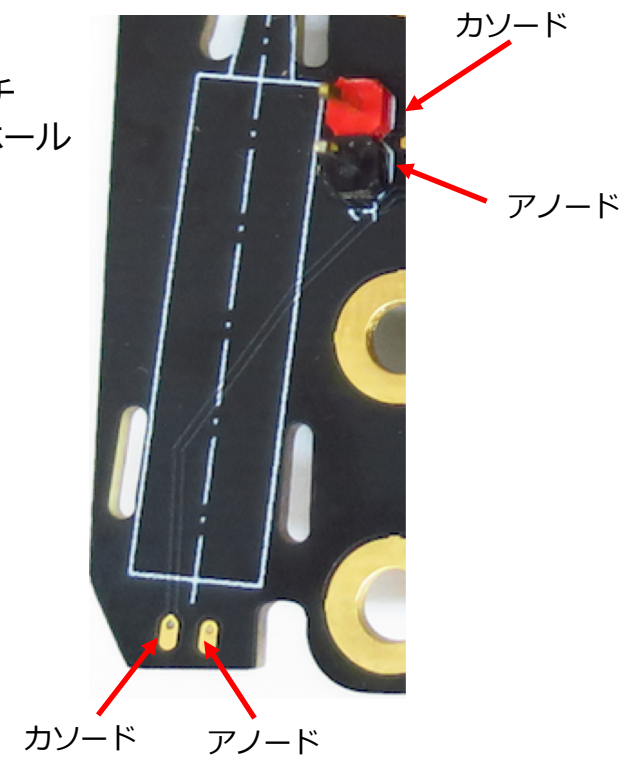
1.コンパクト光パワーモニタ基板仕様

項目		仕様	備考
1 重量		50g以下	
2 寸法		60mmx50mm以下	
3 環境条件	動作温度/湿度	15℃～35℃/80%以下(結露なき事)	
	保存温度/湿度	-10℃～60℃/95%以下(結露なき事)	
4 電源	電圧	DC:5V±0.5V	USB Micro
	電力	0.2W	
5 モニタ回路	変換方式	TIA/LOG	
	ダイナミックレンジ	TIA: +20dBm~-40dBm LOG: +10dBm~-50dBm	標準的なPDによる測定値
	表示	dBm/mW	
	表示切り替え	基板上ボタン押し	
	測定精度	±0.2dB以下	
6 通信	USB	仮想COM,115200bps	
	コネクタ	USB-Micro	

3.コンパクト光パワーモニタ基板操作方法



- 1.OLEDモニタ
- 2.外部PD接続端子
- 3.実装用PD接続端子
- 4.dBm/mW切り替えスイッチ
5. 取り付けポスト用スルーホール
- 6.電源用LED
- 7.電源接続用Micro USB端子



3.コンパクト光パワーモニタ基板操作方法

初期操作/設定

1. ご使用予定のPDモジュールをご用意頂き、②もしくは③へ接続します。
2. お手持ちのPCと⑦Micro USB端子を接続します。
3. 光源を用意し、0.0dBm (1mW) など設定しやすい光レベルにお手持ちの光パワーメータを用いて設定します。
4. PDモジュールへ接続し、受光されていることを確認します。
5. ターミナルソフトウェア (Tera termなど) を用い、SET SENSコマンドを用いてPDモジュール受光感度の設定を行います。(下記通信欄参照)
このとき、お手持ちの光パワーメータと整合するように補正します。

通常操作

1. PCもしくは安価なUSB出力用AC/DCソケットを用いて、Micro USB端子と接続します。
2. 基板上の④dBm/mW切り替えスイッチにて所望の表示に切り替えます。
8. 使用後はMicro USB端子からケーブルを離脱します。

通信

1. ターミナルソフトウェアを用いて、設定、データ取得を行えます。

USBドライバー 仮想COM VCP Rev2.08.24 FTDI社 Windows32/64bit対応

通信条件

通信速度	115200bps
bit 数/Ch	8bit
パリティ	ナシ
stopビット	1
送信 ON/OFF	ナシ

コマンド

*IDN?	装置問い合わせ
GET VAL	表示されている数値を取得します。
GET MW	表示されている数値がmWの場合数値を取得します。
GET uW	表示されている数値がuWの場合数値を取得します。
SET SENS	PDモジュールの感度補正に用います。